



著者プロフィール

栗田やすし（くりた・やすし）本名 栗田靖（きよし）。

昭和12年6月13日 旧満州国ハイラル生まれ。

昭和32年 岐大俳句会に入会。

昭和41年 沢木欣一主宰「風」に入会、同45年同人。

平成10年 「伊吹嶺」創刊・主宰。

句集『伊吹嶺』（風発行所）、『遠方』（角川書店）、『霜華』（富士見書房）、『自註句集 栗田やすし集』（俳人協会）、現代俳句文庫『栗田やすし』（北溟社）。

著書『子規と碧梧桐』（双文社出版）『山口誓子』（桜楓挂）『俳句とふるさと』（中日新聞本社）ほか。編著『碧梧桐全句集』（蝸牛社）『河東碧梧桐の基礎的研究』（翰林書房・俳人協会評論賞受賞）ほか

社団法人俳人協会理事・日本文藝家協会会員・国際俳句交流協会評議員・俳文学会会員

朝日カルチャーセンター（名古屋）講師・日本大学教授を経て中京大学講師。

〈句集『海光』より転載〉〈2009年3月29日時点〉

『海光』（自選15句）

栗田やすし

木瓜咲くや怠け教師として終る
春の夢はつしと面を打たれたる
研ぎ上げし鬪牛の角朝焼くる
秋風や石あればみな風化仏
極楽てふ茂吉のパケツそぞろ寒
草萌ゆる予科練生の夢見し地
海光やこぼれて白き花月桃
赤土に幾万の霊甘蔗青む
椽の実に屈めば妻も来てかがむ
滝凍てて全山音を失へり
黒々と碧の遠墨や梅雨の寺
もの焚けば綾子師のこと寒牡丹
父の記憶なくて父恋ふ事朝忌
蜥蜴這ふ砲火に焦げし洞窟の口
靖国の靖はわが名敗戦忌